

小林 鋌 螺

CSR基本方針

および CSR推進ガイドライン

2020年12月1日

小林鋌螺株式会社

## 1. 労働

### 1-1 強制的な労働の禁止

すべての労働者とその自由意志において雇用し、強制的な労働を行わせない

### 1-2 児童労働の禁止と若年労働者への配慮

最低就業年齢に満たない児童を雇用せず、また若年労働者の発達を損なうような就労をさせない

### 1-3 労働時間

法定限度を超えないよう、労働者の労働時間・休日・休暇を適切に管理する

### 1-4 適切な賃金

労働者に法定最低賃金を支払い、不当な減給を行わない

### 1-5 人道的な処遇

労働者の人権を尊重し、人道的な処遇を行う

### 1-6 差別の排除

求人・雇用における差別をなくし、機会均等と処遇における公平性の実現に努める

### 1-7 結社の自由

労働条件、労働環境、賃金水準等の労使間協議を実現する手段として労働者の結社の自由を認める

## 2. 安全衛生

### 2-1 職場の安全とトレーニング

職場の安全に対するリスクを評価し、適切な設計や技術・管理手段により安全を確保する

### 2-2 緊急時の対応とトレーニング

生命・身体の安全を守るため、発生する可能性のある災害・事故などを想定し、緊急時の対応策を準備し職場内に周知徹底する

### 2-3 労働災害・疾病

労働災害によるけがおよび疾病に関する状況を把握し、適切な対策を講じる

#### 2-4 産業衛生

職場において人体に有害な生物・化学物質および騒音や悪臭などの状況を把握し、適切な対策を講じ、労働者の健康管理を行う

#### 2-5 身体的に負荷のかかる作業への配慮

身体的に負荷のかかる作業を特定し災害・疾病に繋がらないよう適切に管理する

#### 2-6 機械装置の安全対策

自社で使用する機械装置類に適切な安全対策を講じる

#### 2-7 施設の安全衛生

労働者の生活のために提供される施設（食堂・寮・トイレなど）の安全衛生を適切に確保する

#### 2-8 安全衛生のコミュニケーション

労働者の安全衛生を確保するため、情報と教育を提供し、労働者と安全衛生の課題について会話する

### 3. 環境

- 当社 ISO14001認証に関する取り決めに準拠する

### 4. 倫理

#### 4-1 汚職・賄賂などの禁止

政治・行政との健全かつ正常な関係を保ち、贈賄や違法な政治献金などを行わない

#### 4-2 不適切な利益供与および受領の禁止

ステークホルダーとの関係において不適切な利益の供与や受領を行わない

#### 4-3 情報の開示

法令等で公開を義務付けられているか否かを問わず、ステークホルダーに対し情報の開示を行う

#### 4-4 知的財産権の尊重

顧客およびサプライヤーの知的財産権を尊重する

#### 4-5 公正なビジネス

公正・透明・自由な競争を阻害する行為を行わない

#### 4-6 不正行為の防止・早期発見

不正行為を防止するための活動を行い、早期に発見し対応するための制度を整える

#### 4-7 責任ある鉱物調達への対応

人権等の社会問題を引き起こす原因となりうる鉱物を購入しない

#### 4-8 優位的地位の濫用の禁止

優位的地位を濫用することにより、自社の仕入先に不利益を与える行為を行わない

#### 4-9 適切な輸出管理

法令等で規制される技術や物品の輸出に関して、明確な管理体制を整備して適切な輸出手続きを行う

### 5. 情報セキュリティ

#### 5-1 情報漏洩の防止とトレーニング

仕入先、顧客、消費者および従業員などの個人情報や顧客から受領した機密情報を適切に管理・保護する

#### 5-2 コンピューターネットワークの脅威に対する防御

コンピュータ・ネットワーク上の脅威に対する防御策を策定し管理する

### 6. 品質・安全性

#### 6-1 品質マネジメントシステム

品質マネジメントシステムを構築し、運用する

#### 6-2 正確な製品・サービス情報の提供

消費者や顧客に対して、製品・サービスに関する正確な情報を提供する

#### 6-3 製品安全性の確保

購入先の責任で製品設計を行う場合、各国の法令等で定める安全基準を満たす設計とする

## 7. 社会貢献

### 7-1 社会・地域への貢献

国際社会・地域社会の発展に貢献できる活動を積極的に取り組む

以上